

# 第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

## この試合のプレー集計

### 1回戦

千葉県選抜

13	2	—	1
	3	—	2
	5	—	2
	3	—	4

9 山形県選抜

審判：

黒谷 真功  
縄井 裕平

千葉県選抜	27	SH数	19	山形県選抜
	9	速攻数	2	
	12	ST・SB	9	
	6	SH・P誘発アシスト	1	
	31%	GK阻止率	24%	
5	EX反則数	3		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

第2試合も前回大会の1回戦の再戦。前回は千葉22－4山形と、やや一方的な展開となっただけに、山形としては挽回したいところ。

#### 【1P】

ゲーム序盤からお互いにしっかりと相手をマークして互角の攻防が繰り広げられた。その中で、わずかな山形側のミスについて千葉が先制点をあげる。センター位置で千葉⑤澤木がペナルティを誘発し、②臼井がペナルティSHを外すもリバウンドを押し込んだ。続けて千葉側が積極的に泳ぎ、右サイド⑦佐々木からのパスを受けた⑭傍嶋が左サイドから決めて千葉2－0山形とリード。しかし、山形もセンター位置で退水を奪うとGKを見透かすループSHを②齋藤が決めて1点を返す。その後も双方、激しい攻防が続いて、千葉2－1山形で第1ピリオド終了。昨年と違った展開で熱戦となった。

#### 【2P】

このピリオドも一進一退が続いたが、中盤に千葉③林がきれいなミドルSHを決め、続いて⑮松本が加点して点差を広げた。対する山形は③宇津江が左45°から見事なループSHを決めると、続けて⑭風間がセンター位置から決めて追いつがる展開に。しかし千葉もピリオド終了直前に、3－2速攻を⑤澤木が決め、千葉5－3山形の2点差で前半を折り返した。お互い、相手との接近戦での攻防が続き、見ごたえのある展開となった。後半はミスが勝負を分ける展開が予想される。

#### 【3P】

このピリオド先手を取ったのは千葉。速攻を仕掛けて中央から⑭傍嶋が決めて3点差に広げた。さらに、中盤からの加速で⑫宮本が速攻を決めて連続得点。このあたりから泳力の差が徐々に広がる展開が続く、山形はやや防戦に。しかし、シュート力のある⑭風間がミドルを決めて点差を詰めるものの、千葉側のセンター攻撃への山形のDFミスから⑭傍嶋がノーマークSHを決めて突き放した。力の差がこのピリオドでは顕著になった形で、千葉10－5山形と完全な千葉ペースで最終ピリオドへ。

#### 【4P】

このピリオド、劣勢に立った山形が奮起。⑭風間が決めて4点差に詰める。続けてさらにセンター位置で退水を奪った攻撃も千葉側にマークをずらすDFで対応されて好機を逸した直後、⑭傍嶋の中央突破の泳力に負けて速攻SHを決められて再び3点差に。山形は最後の力を振り絞って猛攻をかけ、ここから連続得点して一気に点差を詰めていく。③宇津江に続いて②齋藤が連続得点して山形が点差を詰め、千葉11－9山形となった。しかし、千葉は②臼井が速攻SHを決めて勝負あり。最後は⑫宮本の6mSHがゴールネットを突き刺し、千葉13－9山形で試合終了。

お互い攻防の接点で見ごたえのある競り合いを見せ、水球らしい展開に場内は大いに沸き立った。千葉側の泳力が勝負の分かれ目となったが、見ごたえのある一戦であった。両チームの健闘に拍手を送りたい。